満州日報

時別廣告

…市元寶六吊百至六三吊二百…
紅糧價錢五吊四百文至五吊
…市共上車三十餘輛
…慶東共來七十餘輛
元寶六吊九百至六吊八百

一七九半紙　一…全　一圓八十錢
一連紙　一連　一圓
一フールスカツプ全　四圓
一中判洋紙　全　二圓
一半紙野紙　百枚　二十錢
一卷紙　四十枚續　十四錢

一全三組道具　一圓五十錢以上一圓七十錢
一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一鹽筒　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戸棚　七圓五十錢以上十圓

一…　…
一長火鉢　一枚モノ　四圓以上六圓五十錢
一箱火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一宜德火鉢　一對　二圓以上三圓五十錢
　　六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

廣告料　一特別廣告　一ヶ年以上一ヶ月以內銀十五仙乃至十仙四十錢
一長期連揭減價面議

發行所　清國營口中盛街　満洲日報社（電話二九番）

○報價目
每月收取八角代價所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
横濱正金銀行牛莊支店
本支店出張所　横濱　神戸　東京　長崎　大阪　倫敦　里昂　紐育　桑港　孟買　香港　上海　漢口　天津　北京　大連　旅順　奉天　遼陽　芝罘　鐵嶺　安東縣
（電話十番支配人室）（電話百八番事務室）

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
營口出帆
●營口丸　十九日午前出帆　太沽、芝罘、門司、神戸行
●相模丸　卅一日出帆　太沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戸行
●横濱丸　大連出帆　十八日午後二時出帆　門司神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話二十六番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
●潮洲丸　七月二十日門司行　乘客謝絶
代理店　ブンゲ兄弟商會　營口公園地樓　遠來洋行（電話二十三番）

瀛船出帆廣告
●第二長門丸　十八日　長崎行
松茂洋行船舶部　海岸東稅關西　電話（五二）（五七）

朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

社告
今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依頼者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也
大石橋市街　瑞穗洋行
遼陽西門外　芳文館
奉天大南門內景祐宮胡同　本社支局
大連盤城町　岡野新聞舖
安東縣新市街　天祐公司
新民府　泰東公司

正隆銀行
營業項目
一定期預金（長期存款）　三ヶ月　五分　六ヶ月按年五分五厘　一ヶ年　六分
一當座預金（暫存款）　按年　四分五厘　日步　一錢二厘三毛
一小口當座預金（零碎暫存款）　按年五分一厘一毛　日步一錢四厘
一送金爲換取組先（滙兌）　東京、横濱、大阪、神戸、長崎、上海天津の横濱正金銀行本支店
一貸附金（放利）
一附帶ノ業務　一般財產並に土地建物の管理を引受くると不動產抵當貸附金の委託を引受くると
本行受入の幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尚近々の內過爐銀の取引をも開始可致候
●ぬ號勸業貯蓄債券（五圓券）發賣　軍政署認可
營口西北街第二百三十號（日本人會西隣）
支配人　深水十八（電話二百十番）

宅洋行
啓者敝行專賣神戸棉布荷花標布東洋緞子緞子布并中外洋火柴鐵表等類價值格外克已並且蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人來厚田氏細心接洽歇待周詳俾可商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧是幸之至
總司理人　田中賴之助　謹白
開設老爺閣街同興德院內　電話（店一八三番）（住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋貨煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運等宜營口東西兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡貨物裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼設有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水腳棧租格外從廉
貴客賜顧請到小號面議是幸
總司理人　[illegible]謹白

東永茂
本號開設油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房營業及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店係有交誼厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正經理[illegible]　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨兼料理棧房棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致誤
本主人敬啓

仁裕號
保險運各[illegible]火輪船生意兼賣各種洋什貨[illegible]石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

志岐組
本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人謹白

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許設運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明保顯中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧內西櫃（電話九十八番）

三井
電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷
○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議
○發售日本白米
○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久資存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請至本行面議

三井洋行啓
啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙王鹿芹朱斐章先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亭內面議可也
營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已諸公賜顧請駕臨大德亭內面議不誤
王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　仝啓

洋行　電話　第六十六號　第九十一號

三工
營口元神廟前
飯塚工程局材料部（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て間街引立の爲奉希上候多少に不拘賣却仕候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

志岐組本料棧
材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨綠兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光顧請到本棧面議

周
鐵道遼河裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站均設分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面議是荷
營口西北街（電話十八號）
既設分局　牛家屯車站、遼陽、奉天、昌圖各車站（電話四十六號）

營口承文信記書坊
現廣西大街粵東會館西阜豐棧內專售古今書籍及石印教科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙士商賜顧者價照批發格外克已不悞
本號主人　謹白

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉
光顧者請至營口永世街
第五號門牌便是

青堆子
菅野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

SP
糸平公司
本舗在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
朝日ビール特約大販賣
營口元神廟街元神廟南邊路西（電話一百九十二號）

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請至本號面議特仰週知
營口南永盛街　同濟公司總局
馬蜂溝　同濟公司分局
營口守屯　同濟公司分局
通江子　同濟公司分局

日本官造紙煙專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）嫣嗎唎（軍旗牌）隆佑來福（雙仙鶴牌）利（百合花牌）撻利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳天巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣
東營口西北街（舊代々木公司）
日本官煙營口專賣處

社告

我社の一週年　本紙の大發展

來る二十六日は營口占領第二次記念日にして又我社創立第一週年に當る乃ち本紙は此記臆すべき吉日を機とし我社の大發展を行はんとを期し既に新式印刷機を購入し活字を一新し職工を增加し新聞印刷以外汎く一般印刷物の注文に應ずるの準備を整へ紙面亦從來の六段を改めて七段總振假名附とし眼めて其內容を豐富流麗ならしめんが爲め更に記者を增聘して已に其發表に在り創刊以來殆ど醉生夢死せる我紙は今や滿一年にして始めて活躍の時機に到達しぬ因て我社は當日の吉辰を祝すべく特に本紙を十二頁とし記事を精選し趣味を多様にし以て讀者平生の眷顧に酬ゐんとす其如何なる趣向を以て江湖に見ゆるかは請ふ之を同日の紙上に徵せんとを謹んで豫告す

一、當日の本紙は特に數万枚を增刷し廣く一般に配布するを以て廣告の効能殊に顯著なるを覺ゆ依賴諸君は本月二十日迄に申込まるべし

一、營口占領第二次記念日及び本紙一週年祝賀の詩、歌、俳句等を寄せられんとする諸君は廣告〆切期限と同じく二十日迄に編輯局へ投寄を乞ふ

七月　日　滿洲日報社

倫敦電報

●ドレフユース事件の破棄(十三日發)　佛國大審院は再審を用ひず直にドレフユース事件の原判決を破棄せり

●ド氏復職の動議(同上)　佛國政府は緊急動議によりドレフユース大尉及びピクワルト大佐の復職並に仝大尉は仝少佐に大佐は旅團附少將に昇進せしむべきを發議せり又ドレフユース氏はレヂオンドノール勳騎士に叙せらるべしと

●佛國議院とゾラの遺骸(同上)　佛國議院にて故ゾラの遺骸を聖教堂墓地に移すの動議提出せらる

●慘殺事件再發の兆(同上)　ワルソーに於てビ慘殺の事件再發の兆あり猶太人男女避難の爲め他方に逃るゝもの四千名に上る

●陸軍改革案の提出(同上)　英國陸軍卿ホルデーン氏は昨日陸軍々制改革法案を提出せり右に據れは現在兵數より二萬人を減少すると同時に効力は五割方增進せしむるの目的なり同氏は新編成後の豫備兵並に歸休兵の効力に厚く信賴する所あり若し必要に際せば十五萬の遠征隊を立ろに派遣し得る迄擴張せらるゝ見込なり

●英獨兩皇帝の會見(十四日發)　英國皇帝はマリエンバツド溫泉地に御旅行の途中伯林以外の地にて獨乙皇帝と御會見の約成れり英獨關係は親密の度を加へたりと一般に了解せらる

●ドレフユース議場の大紛擾(同上)　佛國議院に於てドレフユース大尉並にピクアルト大佐復職昇進に關する政府案の討議あり議場は紛擾を極めたり議員バグリエー氏は政府を罵て聽病者呆者と呼び內務次官ダーレント氏は激怒してバグリエー氏の頭部を目懸け痛打したり議場は恰も沸が如く益々擾亂を加へたれば議長は休會を命じたり

●議院の眞劍決鬪(同上)　前項の鬪爭に起因し議院構內に於て議員バグリエー氏と內務次官ダーレント氏の眞劍決鬪ありダーレント氏は重傷を負へり

●ド大尉復職可決(十五日發)　佛國議院はドレフユース大尉並ピクアルト大佐復職の件を可決したりされとも仝大尉等に反對したる士官を免官するの議を否決せり

●露國の委員派遣決定(同上)　露國議會は倫敦に於て舉行せらるゝ萬國議會會議に委員六名を送るに決せり

雜報

●大連通信

七月十四日　刀水生

▲南滿洲鐵道創立委員　在連の士にして僅々三名の任命を見たるに過ぎす、即ち鐵道提理部提理武內工兵大佐と民政署の關谷事務官と窪谷警視と是れなり特に警視にして此任命を見たるは即ち軍政撤退と共に長春迄の間に於ける鐵道構內の警察權及裁判權は民政署警務部及現制に於ける民政署所屬審理所(裁判所)の職權として事務を執る所に係る茲に於て一人の委員を同部內より選任すること當然の措置たるや論なしといふ者あり而して委員會は東京に開會さるべしと傳ふ勿論の事なり而かも同會社の重兒玉委員長の手元にて既に已に成案されたるを報す其委員會たるや實はホンの儀式的顔台に過ぎさるへしとの事

▲學校生徒の滿洲觀光　來る十八日六百名着連すへき生徒を第一着に其後二十三日に一船、二十六日一船、二十九日に一船、來月二日に一船到着すへき豫定にして毎日二百名宛を上車せしむ計畫にして其順序は大連より旅順に旅順より奉天に直行奉天より鐵嶺に鐵嶺より營口營口より金州に一日滯在の上歸連上船する豫定にして途中宿泊すへき個所は旅順、奉天、鐵嶺、營口、金州等にして鐵路發程より大連に歸着迄十一日間を要する豫定なりといふ

▲朝日新聞のろせつた丸　大阪東京兩朝日新聞の發起に係る滿韓巡航船ろせつた丸は三百七十五名の同行會員を載せ來る八月六日を以て大連に到着營口、奉天、歸路遼陽及、南山の戰場を見旅順に到着十三日旅順を拔錨する都合なり此壯舉に對しては陸軍省其の他官衙に於ても頗る好意を以て之を迎ひ之れに便宜を與へて行をして遺憾なからしむるに力む、特に野戰鐵道提理部關東州民政署等は出來得る限りの便宜を之れに與へん事を約せらる又大連有力の商業家を以て組織せる大連實業會は決議を以て之れを歡迎せんと表白す又大連專業旅館組合は宿泊者に對し一割引の決議せり其他尙種々なる方面に於ても之れを歡迎且つ便宜を與ふる道を講しつゝありといふ

●安東縣通信

七月八日　花隱生

▲正金銀行開店披露　同銀行出張所主任高木鐵太郎氏は昨七日午後八時より福壽美館に於て當地の重なる有志を招待し開店の宴を拔けり來會者には高山軍政官、小島木材廠長、富田守備隊長、岡部領事及河野日本人會長其他當地の紳士紳商等三十二名にして席定るや高木主任は一應の挨拶を述べ更に語を續けて本銀行が當地に第一銀行出張所ありて金融の便を圖りつゝありしに係らず出張所を設置したる所以は當滿洲に於て財政の整理を圖るため從來各種の兌換券發行され大に不統一にして其整理上甚だ困難なるにより其統一方も其筋の內命を受け茲に出張所を設置する事となりたる次第なれは向後有志諸賢の愛顧を蒙り成功するものなり云々次に岡部領事は來會者總代として其答禮の辭を述べ直に宴に移れり一同十分の歡を盡して散せしは十一時半頃なりき而して業務は本月一日より第一出張所內にて開店執務しつゝあり

▲滿洲尙武會　今回當地にて村上小三郎氏主任となり滿洲尙武會なるものを組織し擊劍柔術の稽古をなす目的にて過日其設置方認可を得たれば市場通八丁目陳列館裏手にて約百坪の地面を借り受け道場の建築中なりしが已に落成し內地に注文しありたる諸道具等も着したれば去る五日より演武を開始せり目下會員四十名あり右につき當地の手島壽吉、金井佐次の兩氏萬事に斡旋盡力しつゝあり

▲井戶貸下　當地にて飲料水の困難なるとは云ふ迄もなきが從來軍政署の所轄にて飲料水及び雜用水に使用しつゝありし市場第十四、第十五の二ヶ所は今回種々なる條件の下に六ヶ月を一期として個人監督使用に附し貸し下ぐる事となり昨七日其使用者入札を舉行されしが村上某氏に落札し來る十日より使用開始する筈なり而して各自家へ給水人夫もて運ばしむる時は新市街丈にて一荷五錢井戶場にて汲み取る分は一荷五厘の割にて落札者は六ヶ月一千百餘圓の入札をなせりと

▲街頭店舖　今回天祐公司にては目下大連に於て施行しつゝある街頭店舖に因み凡ての諸雜貨販賣の目的にて約一坪の六角堂を拵へ街頭往來頻繁なる要衝要所の七ヶ所に設置方認可を得去る五日より新市街遊園地及舊市街財神廟街の二ヶ所に開始しつゝあるが由なるが購客の便利にして且つ安價なるため頗る好景氣の模樣なり

▲鴨江の增水　雨期に入りて梅雨らしき降雨もなきが此頃上流に降雨ありしと見へ昨日午後三時頃より俄かに鴨江增水滿潮と流れ逢ひたるため舊市街大和町海岸通附近は浸水し同所に居住する邦人及び支那人等は一時其引上げ等に大混雜をなせしも引潮となりて漸次減水したれば今日に到りては全く無事となれり

●營口日本人親睦會　一昨日の日曜午後四時頃より青堆子の朝日館に催せし同會は來會者一百七十八名余稀有の盛會にして日本人會長副會長の挨拶に次で當日の來賓たる與倉、瀬川二氏の挨拶あり夫より數氏の互に演壇に起ちて時事問題に就て意見を吐露するあり午後六時半頃散會したりと云ふ

●忠魂碑建設義金　在旅順忠魂碑建設義金募集方に付中央委員陸軍砲兵大佐星野金吾氏より當牛莊瀬川領事に依賴し越したるとは當時の紙上に記載せる所なりしが今領事館其他の出金者を舉ぐれば左の如し贊成の諸氏は多少に拘らず瀬川氏迄至急相屆けられたしとなり

▲金三圓也瀬川淺之進▲金二圓也高橋清一▲金四圓也片山敏彥佐藤今朝藏杉野鋒太郎三宅新太郎▲金一圓也桝田元重增田岩右衛門千葉胤麿荻原正記柿崎末四郎▲金二圓也林成次郎▲支那銀貨五圓也山田英明

●赤十字篤志寄附者　在營口綠震福氏は日本赤十字社博愛の主旨を協贊し此程金一千圓を寄附せるを以て同社は定款に照し特別社員に列し勳裁を經て有功章授與の筈なるが其外在大連劉兆伊氏は百七十五圓を在營口潘玉田氏は二百圓を孰れも寄附せるを以て其篤志に對し同社は夫々特別社員に推薦せりといふ

●中島社長の來營　本社々長中島眞雄は社用を帶び昨日來營當分日營ホテルに滯在の筈なり

▲目睹耳聞　第二回日本人親睦會は實に營口未曾有の盛會であつた▲無慮二百名の我同胞が一場の下に集合したので流石に廣濶なる朝日館の樓上も立錐の餘地なき迄であつた▲一瓶の酒一種の肴に滿足しつゝ交る〳〵起ちて胸襟を披瀝した態度の穩健なる滿場只快感に打たれて暫し時節柄大陸的溽熱も忘れてしまつた位である▲願はくは將來もこの好例を襲ふて彼の美酒を呼び佳妓を擁し豪を行ひ奢を鬪はす的宴會の惡習慣を打破し、[illegible]のである▲席上瀬川淺之進君が訓示的演說[illegible]例に依りて頗る懇切を極め管野道親君の尻叩論一應御尤の樣なれども由來牛を御するにはそ、尻を叩かんより寧ろ鼻木を引くの優れるに若かず▲杜萬頃動もすれば疏河鑿開論を擔ぎ出し着眼の奇驚を誇らんとするも惜むらくは議論黴が生えたり▲宮井治一君自から豚と稱して演壇に立ちたる何處やら常陸山の面影ありて愛嬌讓る〻許▲佐藤郵船が頗る流暢の辯を振ふて營口非悲觀論を唱へしも的なきに放つ矢は大當りのあらふ筈なく結局沒要領に終りしは笑止とや評せん▲其他尻馬に乘つたる陳笠連の駄辯は單に一場の愛嬌と見て可ならんか▲只一坐の大立物たる大井馬城が意外にも沈默を守りつゝあつたのは殘念であつた

●銷夏錄

散步道人

占者の獨白(五)

女房も一度取り、息子も一人出來たが、二人とも大流行の痢病で死んで仕舞つたつきり、二度と女房は貰はねえ、始めの內はいつかな吾儕でも嫌にこう寂しかつたが、なあに馴れりや獨りの方が結句氣樂で淸々する。今時の野郎の樣に女房と一緒に、米櫃を覗いちやべそを搔いたり、唐紙を張つたり、赤ん坊を生んだり　るなあ、はたで見ちや居られねえみじめな者さ。腹が透きや繩暖簾を潛つて矢大神を極め込む分の事よ。今ぢや警察が喧しくつて矢鱈に橋の下へも寢られねえ仕末だから、天神下の薪屋の裏で九尺二間を借りて居るが、吾儕の性分として薄暗い天井の下に燻つてるなあ金輪際出來ねえ、青大井を見て居なくつちや何うも虫が收らねえ。河東節も呻吟りや富元もやるが、今時の若い野郎の軍鷄を締めた樣な不意氣な聲を聞くとお臍が茶沸かす。此間も松の湯の湯舟ん中で、豆腐屋の南瓜野郎がうで鮹の樣な面を滅茶苦茶に振り立つて、太十か何かを呻吟つてゐるんだが、てんで調子に乘つちやゐねえ。終ひにや堪らなくなつてお傳ちやんぢやねえか、湯癲癇も起こすと不可ねえせとちよいと水をさして遣つた。野郎鼠色の手拭でべろりと面を撫でやがつて、あ裏の伯父さんです、伯父さんに聽かれちや仝くの所鳶に油揚なんですよと無性に嬉しがつてゐやがつた。然し鳶に油揚たあ情ねえ洒落を言つた者だ。三味線許りぢやねえ、芝居だつてさうだ。昔の役者は河原者と言はれてゐたが腕は大した者だつた。中村仲藏なんて言ふなあ、能く吾儕の內へ來た男だが、實に巧妙え者だつた、今ぢや何うだ、旨いも辛くもねえ大根を、關白太政大臣か何かの樣に崇め奉つてやんやと騷いでる。それに氣が知れねえなあ、眞逆役者大明神樣の古狐に憑かれた譯でもあるめえが、役者の眞似が流行つて來た。權兵衛田吾作のお輕勘平や、酒屋の御用さゝの松王丸は愛嬌があつて面白いが、鯰髭や鼻眼鏡のぞたばた騷ぐなあんまり態の好い者ぢやねえ。此間もよ、吾儕の幼友達が料理屋を開いてゐるのを尋ねて行つたち、さうよ何とか言たつけ、えゝと亭主女房會とか言ふ會の寄合があるんだ。洋服や仙台平がみんな婦左衛門や餓鬼を引き連れて見てゐるとあんまり見られねえ圖だからつてんで見てゐると東西々々、連中の隱し藝が始まるんだとよ。てんでに變てこな眞似をやつたり、氣味の惡るい聲を出す。中にや鰻の樣な聲を絞り出して落語をやる御仁がある。あんまり胸糞が惡るくなつたので、話もそこ〳〵にして歸つて來た。箆棒め、あの連中も昔ぢや儒者とか先生とか言はれる御歷々だらうが、やるにも事を缺いで女房つ子を寄せ集めて落語家の眞似でもあるめえ。陽氣に浮かれるなら浮かれるで長脇差に丹前褄でねつて步るくとか何とか潤達な考がありさうなもんだが、巫山戲た寄合なんざあ見つともねえや。時世も變りや變る者だ。何がなんだつて坊さんが芝居を書かうたあ、斬られ與三の文句ぢやねえが、お釋迦樣でも御存じあるめえ、えゝと此の分ぢや・ばち〳〵、二一天作の五、けん一ぶたうさつきうの一、百二十五年、えゝと三ヶ月も經ちや蝶が馬車へ乘つて煙草を吹かして、人間が地ん中へもぐり込むかも知れねえぞろ〳〵心細くなつて來た。あゝ大分逃げ出すね。三錢だ〳〵。

吾儕は大黑樣の緣日の外何處へも出ねえ、外の易者の樣にやれ辨才天だ、毘沙門だ、大日樣だで氣が多くねえから、今年の初子に、中氣病みの樣な大黑樣が鼠と一緒に吾儕の內へ態々やつて來て、お前はほんとに忠義者だと仰しやると鼠の野郎迄が忠々だなどと惡巫山戲をしやあがる。流石の吾儕も少々面喰つて、へゝ好い御天氣で御座いやすと言ふてえと、大黑樣至極にこ〳〵物で、今時の人間は揃ひも揃つて乾涸びて切つてゐるのに、お前のいふ言は何うも水際立つて居て面黑い。就いちやお前は大層算盤が巧妙いさうだが、近々の內に死なうから聚福殿の吾儕の側へ來て會計をやつて呉れと言ふので、へゝいづれ御厄介に上がりますと答へたら、善哉々々で歸つて行つた。慾は深いが憎氣のねえぢいさんだ。さあ見て遣らう、中らなかつたら見料は要らない。(終)

日報俳壇

野梅選

課題　集句選　其八

○蠅打の拂子揮にさゝれけり　稻波
○黍折て蠅うち拂ふ馬上かな　同
ゝ耳うとき老か子守や蠅を打つ　同
ゝ蠅を追ふ手たゆくなりし添乳哉　同
○酒十斗はいに抛つ許由哉　同
◎はいとりの壺を閑なる客間かな　同
ゝ蠅よけの紗窓に迫る翠微かな　同
◎蠅多き酒肆に李白か鼾かな　同
○夏の月前鑑橋の靜なる　木嬰
ゝ足代や西洋館の夏の月　同
川に降りて足を浸すや夏の月　同
ゝ夏の月宵の朋星相對す　同

▲夏季雜題　明日又句數をかきらす
▲課題　雲の峰　蟬　午睡　七月末日まで
本社編輯局俳壇宛に御投稿を乞ふ

汽車時刻

關內外鐵道

上り：營口發 前八、三〇 七、〇〇　溝幇子 同 九、四五 九、〇〇　錦州 同 后三、四五 二、〇〇　山海關着 六、〇〇 八、一〇　山海關發 前八、一五 五、〇〇　天津着 同 后

下り：山海關發 前七、〇五 四、四五　錦州 同 后三、五五 二、〇五　溝幇子 同 二、四五 四、四〇　營口着 四、五五 七、五一　北京發 前 八、〇〇

東淸鐵道

新民屯發前六、〇〇　溝幇子着同九、〇〇

上り：營口發 前六、三五 后 九、三五　大石橋着 同 七、三〇 一〇、三〇

下り：大石橋發 前八、〇五 后二、〇五　營口着 同

溝幇子發后三、〇〇　新民屯着同六、〇〇

淡谷木
本號開設營口東青堆子發賣栢木方料 栢木元料紅松料木油松方料元木大小 標子廿四尺栢木大杆木板此木材出售 價廉採買客人不知肆此廣告
東青堆子橋南

會席　營口警務課

和洋諸雜貨　食料品卸小賣　各種賣藥卸小賣
奉天小南門ノ後
中越洋行
中越大藥房

天氣豫報

營口地方天氣豫報　自十四日午後六時　至十五日午後六時
南の風晴れ

短篇小說 幼友達　吹田蘆風

五

予が家の通にて一町許り先に、山本葉山と云ふ相隣れる家ありて、兩家に予と同じき學校に通ふ子ありける。山本の方の子は名は今忘れたれど、意地惡ろき性にて折々は予と遊ぶ事あれど大抵は反目し居たりき。葉山の方の子は源一と云ふ名にて、内では獨つ子にて甘やかされ居たる事とて、吾儘なる子なりき。或日謙ちやんと予と、葉山の家に遊びに行きしに、山本も此處に落合ひて、共に柹の木に登り、未だ熟せぬ實を取りて食ひなどし居たりき。其折何事なりけむ、ふとしたる事よりして、源ちやんと例の意地惡ろき山本とは、謙ちやんを罵り始めぬ。負けぬ氣の謙ちやん例の眼付して罵り返せしが、力ある山本に胸倉捕へられてこづかれしかば、口惜げに泣きて家に走り歸りぬ。此の爭にたづさはらざりし予は、茫然として居たりしに、援目なき山本は予に、謙公に附くか、俺の味方になるかと云ふ。源ちやんも之に助言したりける。心弱かりし予は無氣味になりて、二人に向ひて其味方たらむ事を誓ひぬ、予家に歸りて泣いて歸りし謙ちやんが可哀相でならず。直に例の垣根の拔穴を潜つて行つて慰めてやらむとせしも、予は己に彼の兩人に向つて、謙ちやんの敵たらむ事を誓ひしなり、さりとて心より謙ちやんの敵となりしにあらず。兩人に比ぶれば謙ちやんの方が餘つ程好きなり。かつ謙ちやんには何の恨みもなし。寧謙ちやんの方へ附かうかいや待て、夫れでは先刻の誓約を反古にする事なり。否々彼等二人とは學校が同じなれば、其歸途に虐めらるゝ事なきや。斯くて予は心ならずも弱い謙ちやんの敵となりぬ。いとど意氣地なさわれなりしよ、其時の事想へば今も尚心責めらるゝ樣にて、只々言甲斐なき心地す。其後二三日經ちて山本と源ちやんと予と三人、謙ちやんの家の前を通りしに、其門の前に謙ちやんと姉抱きしそが姉と予が姉と居て話し居たり。謙チやんは我等を見てつと門の内に驅け込みぬ。予が姉は謙チやんと予との仲善からぬを推しけるにや、謙ちやんの姉に氣兼ねしけるにや、予を呼留めて謙チやんと何故遊ばぬかと云ふ。予聞かぬ振りして行き過ぎぬ。其後になれば謙チやんは。姿はちらはら見受けしも一向外へは出で來ず。されば仲も直らず子供の時は直に仲の直るものなるを。其内謙チやんは何でも學校を退がりたる樣なりし、如何なる理由やありけむ、又其家は何處かへ移轉す事となり、謙チやんの姉さんは或華族へ小間使に行くとか云ふ話なりし。いたいけの人なりければ、子供心にも氣の毒さは一汐なりき。移轉して、より後、謙チやんの姉さんよりは、予が姉の許に文通ありしが、夫れも二三度にしてさだえぬる由。これまで述べ來りし事は已に十餘年の昔ながら、此頃聞けば源チやんは學習院とやらに入りしも、惡しき友に誘はれて奢侈放縱となり、學校を退げられしとかや。山本も此の頃牛込邊にて見受けしが、其賤しげに艶めきたる風躰より察するに、學校へ通ふ人とも覺えず。變れば變る浮世なるに、彼の謙チやんは如何にせし何處にか暮らす、今尚健かなりや。姉なる人は如何にかせし、夢にも似たる昔忍びて、なつかしさと悲さとに堪へず。(了)

雜報

● 祝賀催し彙報

▲六千の在留同胞は老幼男女を問はず日一日と紀念祝賀の催しに殆ど寢食を忘れての熱心は到底吾人禿筆の盡し得べき所にあらず、よりて當日の如何に盛況なるかを卜するに足れり記者は當祝賀催しに就ては細大洩さず讀者に報道せる所なるが尚ほ後見聞したる事を記せんに

▲料理店旅館組合 等の祝賀催しは過日來の紙上に掲載せる外各旅館料理店の男子は着衣笠其他附屬品の調製に晝夜兼行を以て準備さ〳〵怠りなく各組合にては我劣らじと競爭にて種々意匠を凝し居れりと云ふ

▲第二區組合 同區組合の萬歲踊は左の如し

時維れ明治甲辰　七月二十六日は　大和島根の櫻花　丹きてゝろの武夫が　醜の醜草切り靡け　營口市街に旭の御旗　風にひら〳〵飜へし　凱歌を擧し時なるぞ」ついで軍政施行され　東西人の別ちなく　生命財産確實に　厚き惠みの保護をうけ　德澤草木に霑ふて　農商工の繁榮は　市民歡呼の聲に和し　賑ひゆくこそたのしけれ」今や戰雲収まりて　四海浪風靜かなる　今日のよき日に二ヶ年の　紀念の杯高くあげ　各國諸民が手を握り　千代に八千代に斯われと萬歲うとう　ぞおもしろや　萬歲うとう　ぞおもしろや」

▲二本町の計畫 同町にては南北の入口に大綠門を樹て國旗球燈を吊り下げ祝意を表するの由なり

▲今金主人の熱心 過日の紙上祝賀催し準備に關し今金主人に對する記事は稍々事實相違の廉あり實際同店にては人手不足の爲め不本意ながら手傳し能はざりし次第にて決して單獨の行動を取るが如き意にあらざりしを以て此程店中の遣繰を行ひ毎日人を稽古場に派して手傳居るのみならず主人自らも出張して他に勝る熱心の盡力なる由なれば前號の報道は總べて抹殺に附す

● 游泳池の取締 近來滅切り炎暑の加はりしめか公園内の游泳池は朝夕共に歐羅巴人、亞細亞人を混入て「ニー」「ツイ」「ユー」、カム」も行く〳〵の大繁昌、こゝ百坪許りの小天地こそ炎さも埃りもに散々凸まされたる口青年が蘇生の思を買ふ唯一の樂世界なり、さるを何處の誰れが爲る業か近來に至りて脫衣の爲めに備ふる釘を折り、脫糞せるもあれば嘔吐をつくねたるもありて迚も安す〳〵と踏み込めぬ有樣に、昨今團係外人側の或るもの我が軍政署に出頭し、吾等外國人は露西亞民政時代に一年間若干の料金を拂ひ、該池使用の特權を有せしもの貴國軍政の今日に至りては一般に公開されたる爲めか近來は支那苦力さへも平氣の平左で吾等と共に游ぎ遊ぶのみか、不屈千万の徒をなすものあり、願くは露西亞民政の時代と等しく若干の料金を拂ふものにのみ游泳の特權を與ふることゝされ度しと屆け出で軍政官も元より異論なしとの事なれば何れも近き中に該池游泳取締上何等の規定を設けらるゝ筈なりといふ

● 姫誤前の水行 昔愚昧の婦女共が迷信の餘り神佛に祈願して夜中人知れず窃に神に詣で又は水行をなして已れの目的を達せんとする輩のありしも二十世紀の今日此頃かゝる馬鹿氣た眞似をなす者は之れ無しと思ひしに元神廟街松樓の酌婦リン、カズエの姫君は色慾亡者を繰つらんとての誓願にや一昨夜草木も寢沈む牛三つ頃でもあらぬ夜中の三時過ぎ浴衣着の儘公園の游泳場に至り姫誤前のあられもなき襦袢も着せず猴父樣のものも穿たず丸裸體の儘ズンポリと飛込み何か耳語居りし所を市街巡視の憲兵に咎められ濡れ鼠の儘其筋に拘引せられて散々お目玉を頂戴したりとは近頃少々誤器量の下つたお話ならずや

● 遼陽滿洲座曾見評(三)　厄介坊

▲狹間合戰官兵衛砦の段 武士道を骨子とし忠と義と情の錯紛せる此の時代物狂言屢々一幕の一時間餘大小の波瀾は捲土重來眞に榮枯盛衰の理を盡して餘りなきもの蓋し此の狂言なるべきか、今川義元の老臣として而かも軍略に長じた武勇の竹中官兵衛、不覺にも娘千里の癡情より一敗地に塗れ術盡きて世外に隱遁する此の徑路を極めて多趣味に仕組たる作者の勢は永劫末代沒すべからずとの餘題は扨て置き(作間氏)の竹中官兵衛是ぞ作間氏の大箝役眞目允分寸分の瑕なし忠憤に驅られて老軀を起せ小田春長に勝負〳〵と決闘を迫まる所など慥かに古武士の面影を放ちて見へ殊に刄を揚げたる官兵衛が愛孫の無邪氣に愛を湛へおるを見て吾を忘れて刄を收めたる愛の表情所作滿足〳〵愛の爲めに剛者も憶し勇者も怯となるの謂なわるなるべし、(仲葉氏)の犬清は分けて善く一點の申分なし(中島氏)の女房腸路臺詞は言々滿座に響きて善く(近藤氏)の娘千里無難無事(平川氏)の齋藤治郎太夫此又箝役なれば不可のある筈なく(春氏)の木下藤吉は樂なもの增田氏の小田春長少しも澁滯なく(鈴木氏)の鋭注進は頗る滑稽流暢孰れも此の幕大車輪の働き振は看客兵士も大滿足に見へたり

廣告

一瀛船貨物運搬業
一浮船及瀨取請負業
右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第二市場ゟ西へ入る
遼河運輸 同濟公司

各位樣
和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町
日本館（電話百三十）

溫泉披露
酷暑の候各位益々御清福の段奉賀候隨て私儀今回溫泉場改築致工事落成に付本月三日開業仕候間乍御保養御臨浴あらんことを乞ふ
附言 弊店渡淸一周年の祝意として入浴料當分の間普通洗湯と同樣に可致候
本泉効能
一白帶下、弛緩せる分泌多き潰瘍、僂麻質斯、
一手掌足蹠腋窩肛圍陰部等の惡臭を放し多汗症
一濕潤せる皮疹及漫性皮膚病、神經痛
七月 日
營口永世街二本町
常盤溫泉 主人 敬白
各位殿

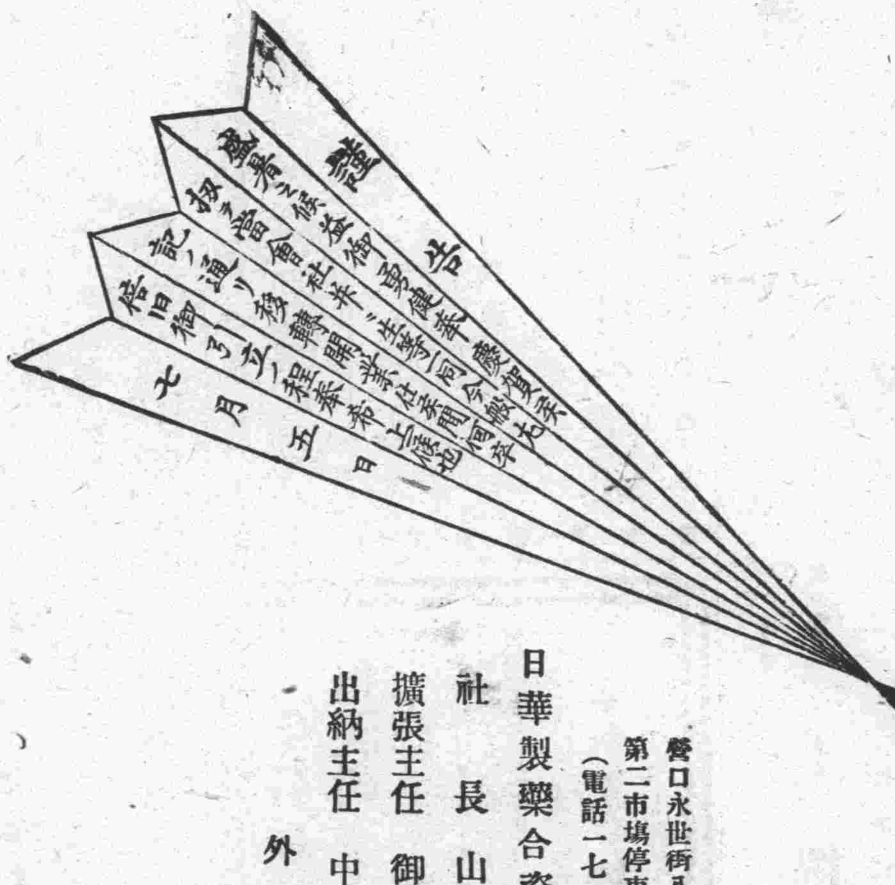
京料理
滿月
平野町（電一六一二）
滿月支店
平野町入口
店主 青木勝憲

料理人 原田常二郎
右の者七月九日限り解雇仕候間爾今關係無之候也
營口元神廟街 金城館

諸鐵工製作
鐵山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其他鑄物諸般
營口ブツシ綏定商會門東街
川喜鐵工所

新着

金井洋行
盛進商行



營口永世街八一號
第二市場停車場前
（電話一七一番）
日華製藥合資會社
社長 山田長
擴張主任 御前正之助
出納主任 中里巳午太
外一同

美術珍柄種々
新荷着仕候間御來觀の程奉願候
永世街
(キ) 木村呉服店（電話八十八番）

東京守田 寶丹 本日より發賣
今般營口占領二週年祝とし特別廉價販賣仕り候間御用の方は左記の處へ御注文又は來談ありたし
營口二本町菊水料理店内
滿洲一手販賣 東洋堂
永世街 中馬藥店
仝 淺野藥店

御披露
小亭義當樣の御引立を蒙り日に增し繁昌に趣き候に付今般京都より指折の小藝妓一名及仲居を呼寄一層勉强仕候御客樣の御特色たる安價と輕便とを以て御亭の御厚意に酬ひ度候尚夏向きは丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候
月 日
元神廟街 翁亭

盛進商行

革麻坐蒲團
旅用衣裝鞄
婦人用洋傘
洋服附屬品
流行靴各種
椅子類各種
卓子簿記臺
油多加織類

品質の精撰と薄利は弊行不動の主意
幸御愛顧の榮を給はらむ事を伏て奉希上候

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーフル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醤油 ○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣

㊂

營口西北街
石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

新荷着

裝飾用簾 洋食用品 肉碎器 秤廿六貫 以下種々
手提金庫 コッピー用 附屬品
窓掛及附屬品 夏帽子各種 戶田式濾水器 宇治新茶
ワイシャツ及カラー 學校用文房具各種 各種複寫簿

關東公司雜貨部 (電話五號)

氷
田庄臺大盛貯氷公司
飲料好適

發賣元
營口元神廟街成功號三階 (電話一三四)
田庄臺大盛貯氷公司販賣部

特約店
大連信濃町市場前 大原商店
營口二本町 丸山氷室
營口永世街 衛生軒
營口永世街平野町角 山田氷室
營口第二市場前 松木氷室

廣告
スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高麥酒スペシャルライト等

六月
本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部 (電話五番)
分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

自造 煉瓦●瓦
並に各種石材販賣

營口靑堆子
加州組
(電話八十六番)

りん病 せうかち ボーコーカタル
即ち花柳病の特効新藥
商標 登錄
(醫藥學細菌學應用萬國陸海軍局方參照)

御複方典藥
麻病丸
藥價 三日分三十錢 七日分五十錢 十五日分壹圓 小包料十錢
韓各有名藥店取次全國各地及清
大阪江戶堀下通三丁目 電話西千五十九番 本家
〔安々堂藥局〕

複方
痳病丸
(白濁藥)

此藥專治白濁五淋赤白帶下及痳病初起之腰痛發熱痙攣疼痛男子生殖器病女子子宮病服之應手奏効不可疑聖藥也
宜用嘎洛不洛散洗淨患處則奏愈速

批發所
營口永世街警務課東隣 回天堂大藥房
遼陽西街 足立大藥房

土木建築用諸木料
板硝子類
マソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコッチウヰスキー

廉價販賣

營口靑堆子綏定門外
志岐組
商業部

喜久洋行

啓者本行專售東洋各種木料板片及亞鉛洋鐵瓦東洋大塊炸子消毒生石灰洋釘木炭等物敝行在靑堆子自置棧房堆積貨物裝船裝車一概方便物美價廉格外公道倘蒙 中外紳商賜顧者請到本行面議是荷
開設永世街第二小鐵道市場路東
本行主人謹白
(電話一五二)

石材 石灰
大販賣

英治洋行
(營口西北街)
(電話三二)

營口元神廟街第貳九八號

㊐昌
滿洲昌圖株式會社
營口分局

總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辨左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨羅兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關內外鐵道又海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路極要各站分局現方在設備中
倘蒙遠邇貨客愛顧新貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特謹白
倘路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

資本金參拾萬圓
日淸合股

靴製造
并に修理

右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也

營口元神廟街郵便局官舍向ひ
桑田靴店

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一(森病院三軒目)
電話百二十七號

病室增築輕便入院

是迄病室少くも數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす

○全身魔醉○ ○局處魔醉○
○嶄新器械○ ○無痛手術○
○梅毒○ ○婦人科○ ○外科胃腸病

專門
日本醫院

松岡病院

牛莊松岡病院
內外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す

殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す

元神廟街第百三十四號
全科醫士 松岡玄雄
(電話一五一番)

醇良日本酒
金露

サッポロビール
孔雀印平野水

大販賣
和洋雜貨 洋酒化粧品 酒類 食料品

千賀洋行
奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店
奉天小西關大街路北

滿韓境上
唯一樂園
五龍背温泉

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
溫泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絕佳今ヤ新綠滿タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ
當溫泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、痲病等ニ特効アリ

宮門抄

二十一日

理藩院　光祿寺　八旗兩翼值日無引見　載貝子松溎陳兆文各假滿請安

召見軍機

榮光遞封奏一件

論說

論粵辦鐵路之現局

楊小歐稿

粵漢鐵路一事。成敗得失。糾轕太長。棼亂太大。鄙人竊竊憂之。誠恐枝節愈多。正宗愈亂。大事將爲所敗也。夫粵漢鐵路美公司訂約在前。以全國正幹要路。乃盡落他人之手。此一失也。迨幾經爭持。出其全力。官民一心。三省紳民。各派代表赴鄂商議。於時政府主。持於上。張香帥與三省紳民。斡旋于中。梁公使暨出洋學生。張王諸君。研究抵抗于外。夫而後乃得礙商就範。贖回自辦。此一得也。乃無端而因口舌之爭。爲三數齷齪小人。讒于岑督。岑督突起霆雷之怒。拿革代表諸君。當是之時。全粵憤甚。幾于罷市。徒以年關在即。稍不持重則全局受累。始出柔軟辦法。然而人心之解體。有相率放手之勢。此一失也。然是時事出公憤。粵人之心。爲之一聚。倡議集股自辦。函電交馳。匝月而得二千餘萬之股。于是而辦路之資本已集。此又一得也。不期橫生枝節。遂至今日。雖其內因不一端。然自表面觀之。則竟是九善堂七十二行與股東。硬分勁敵。截而爲三。如兩軍之交攻焉。不亦奇乎。夫所謂九善堂者。不過一公地之空名。亦如濟良所贈醫局等名詞耳。非如公司云者之具有鉅大眞實資本者也。且前者集股伊始所謂九善堂七十二行商。不嘗特電致京。謂現已集股一千六百餘萬。岑督不去。路股不交乎。夫用人之權　朝廷操之粵人本不得干預。然既有此電。則所謂善堂行商者。其初心亦可概見矣。又其所謂七十二行商者。不過廣州城中之各行商鋪耳。例如山東之濟南城然。如直隸之保定城然七十二行者。乃該城中商鋪之謂。非謂廣東全省商人皆在此七十二行之範圍內也。廣東全省之商務。以本省言。則有省佛陳龍四大鎭之稱。是省城不過爲四大鎭之一。外此稍小之商埠。蓋不知凡幾。故其名目所佔之範圍。實屬有限。況粵商勢力。全在外埠。內而滬津漢等處。外而新舊金山。南洋新架坡。大小霹靂檳榔嶼。檀香山安南暹羅小呂宋日本。大約地球上。稍有商務之處。無不有粵商之足跡存焉。方之區區廣州城之七十二行。藐乎小矣。是故不知者。以七十二行名曰。知計其大。以爲粵商之總名。不知粵商中之廣州城七十二行。其果能當百一數否也。乃竟違厥初心。背戾全體。仰承俯視。未經週知。猝舉總理。亦何怪全體股東之與爭持哉而況所謂善堂七十二行者。不過其中一數人爲之把持。并非全數人俱表同情也。不情論之。股東。實力之所在也。善堂七十二行者。空名之所託焉已耳。不入貲本于鐵路。不能名股東。若股東云者。彼蓋出貲本以往之。若善堂之與七十二行不過一空殼之名號。其曾附貲本于該路與否。皆無不可也。是事而可成。善堂七十二行可以担責任事。而若敗。則善堂七十二行竟退於無責任之地位焉。亦無不可也。故與其信善堂七十二行。誠不如信股東。善堂七十二行而有路股貲本歟。是彼不失爲股東。估股多少。即有多少之權利。是納善堂七十二行。於股東而善堂七十二行之權利無所失若强股東以徇善堂七十二行。是股東中百份之九十皆不在善堂七十二行之內而其事權。則善堂七十二行操之。是股東之權利已失也此其所以啓爭也。且余所謂與其信善堂。七十二行。不如信股東。亦非無據也。股東必有貲本。信股東即信其資本。若善堂七十二行云者。在昔剛毅南下。承商包釐歲繳四百萬。非猶是善堂七十二行出名乎。而今包釐之事若何。四百萬之貲若何。而善堂七十二行則依然無恙也。此正因其祗負莫大之空名。萬一事敗。以責任歸之。則各人皆可置身事外。而此莫大之空名。仍無所損也。若股東云者。苟其放棄。則自己之資本已失。故可無放棄責任之慮。彼岑督者。不知此中之虛實。不知此中之利弊則已。如其知之則未有舍其實有可靠者。而靠其空無憑藉者。以與粵人爭一日之短長者也。是故今日之事。總可以資本爲根據。股東而願入善堂七十二行。則善堂七十二行爲有力。竟可以重任責之善堂七十二行。若股東而不願入善堂七十二行。則善堂七十二行內之佔有若干貲本。儘可仍歸之股東之地位。而權利實無所失。若善堂七十二行。佔股果多則公舉之時亦善堂七十二行。占優勝耳。何必爲此口舌之爭。以誤實事哉。若謂股東人數太多。一律公舉。恐致淆亂則美利堅全國人民。公舉總統。尙不厭其繁瑣。區區二千餘萬之股東。恐尙在少可之數耳。

中外要聞

●英教會呈出洋大臣書　據倫敦報章云前澤尙李三大臣至英京時有各傳教總會代表人與前同文館總教習李提摩太君等晉謁二大臣推誠歡迎並因中國教案條陳意見澤公大喜答謝略云代表各該君或曾在敝國或未至中國然均與我國民殷殷有慈惠之意本大臣心甚喜之蓋足徵貴國民之待敝國有友誼而敝國人民之待英國亦實如此云云茲將各傳教總會呈詞譯登如左以資關心時務諸公一攷焉

貴爵大臣等奉簡遠行躬臨敝國事體極關切要是以敝而外除天十凡各傳教總會之在倫敦者莫不同心合意歡迎貴爵大臣等來此一晤蓋本各總會率有教士在貴國傳教也本各總會深望貴爵大臣等於東西各國所閱歷考察事件將爲貴國政府之大益百姓之公便本各總會乘貴爵大臣等在倫敦之際特將耶穌教久會遣人赴貴國傳教之原因及辦理教務之深心向貴爵大臣等傾心吐膽約畧言之想貴爵大臣等知傳教事之底蘊必將首肯而心許之也所望貴爵大臣等歸國後開誠布公力除疑嫌使教以安中外幸福矣寓華敎士與各國官商人等迥然不同與侵在興軍訂約等事毫無干涉且本各總會於所遣派之敎士切戒其干預貴國內政要求官品及藉外勢保護入教華民等事至地方官事則又囑其循規蹈矩謹愼敬重之寓華教士於凡有益於貴國上等利益之舉動莫不切願其成有損者亦莫不與之反對如鴉片陋習固該教士等所疾首蹙額而望改良者也推教士赴華之本心卽稟承上帝傳教萬國之命宣告救世主之事實所望貴國人民和平而聽任便而信耳其中無一毫强人進教信道之心亦無犯人信仰自由之意惟處衷奉勸而已且敎士之舉止亦莫不安詳而恭謹也至貴國人民之實心入教者亦係安分守己之良民盡心服膺上愛敬衆人乃耶穌教中之明証設有不然者自非實心入教之人想貴爵大臣等必有以分辨之本各總會承敝國樂善好施之善男信女捐集鉅欵用之貴國或賑濟歉年或開設醫院或培養人才或建立敎堂或繙譯分散有益西書其最要者莫過聖經蓋此即敝國發達進步文明教化之本原也本各總會同人莫不深感貴國上等社會人待教會之高情厚誼及庚子亂際力保教中之無辜男婦幼孩俾之化險爲夷轉危爲安且深謝貴國　皇太后慨豐捐助北京醫學堂之盛心及官員中之捐助學校善堂教會等事者同人等深冀凡與揚顯耀貴國之事早日成功更仰求上帝之默佑使貴國安履剗下革故鼎新之時代得達耶穌教立於普世諧美之目的且不獨望貴國爲然即敝國亦可漸臻其極境也同人等恭祝貴爵大臣等公畢榮旋水陸安康尤望貴爵大臣等於成就貴國諸大利益之中體會顧及彼捨己救人愛人如己之敎士是本各總會同人所切望者也倫敦各傳敎總會同人等上言

●日使到京准期　聞確實消息云新簡駐京林欽使定于（西歷七月十一日）（華五月二十一日）搭日本軍艦烏海號由旅順啓程次日到塘沽換乘魚雷驅逐艦赴津於華歷二十三日入京履任俟　兩宮頤和園囘宮即入覲呈遞　國書

●法使出京之考查　前有駐京法使巴博司君赴北戴河消夏之說茲聞確實消息云此說不確然巴使日間出京赴內地遊歷並考察政治商務情形云

●庫倫華商之不滿意延大臣　庫倫來京商人云現任辦事大臣延祉頗不滿意於旅居庫倫之華商因華商與蒙人交涉案件該大臣惟視賄之輕重以爲判定且因募巡警事開辦鋪捐每鋪歲三四百金一二百金不等其實只募蒙古巡兵二十名與宣化駐軍同歸無用而已於地面彈壓事件毫無補益尤有一奇聞而爲商家所傳爲笑柄者延大臣以前任德將藐視活佛致生意見而去延自到任以來卽竭力把結活佛常常趨謁活佛磕蒙古頭然叩頭每一次而活佛必獎以金五十兩而延大臣受之不辭也又活佛最喜排場每一出門而延即撥其衛兵小隊爲活佛前引以壯威風活佛因此亦贈延多金究延之一味把結俄人與活佛而欺藐華商耳

●暫拏勾匪之台吉　科爾沁圖什業國旗台吉與蒙匪勾結搶掠一案（前報誌爲敖罕旗者誤）已經理藩院奏明革其世爵飭令京將軍拿辦現趙留守覆電據稱該台吉已畏罪潛逃應飭熱河都統吉林將軍一体嚴拿已由政府通電嚴緝

●戴大臣請假省墓　聞考察政治大臣戴鴻慈侍郎日前由香港有電寄京略云請假一個月就便赴廣海省墓俾遂烏私并催政府電覆已蒙兩宮允請矣

●體恤被災省分　湖南江西浙江三省因先後水災本年收成將來必爲減色聞已經三省撫臣先後奏准酌量免徵賦稅在案又請減收米釐並將釐卡應徵之物分別減成以及釐稅年比較准其按成扣減以示體恤

●保李經楚接辦財政局　江南候補道劉世珩觀察向在南京辦理財政局事宜現經商部派充北京商品陳列所總辦故日昨南洋大臣周馥特奏保李經楚謂其善於理財擬請將財政局事宜令其接辦云

●咨電整頓漕價　聞政府諸大老議及各省偏災迭見商民困苦不堪查各省徵漕折價時常違例病民亟宜力加整頓以示體恤應咨各省督撫酌定辦法若各屬櫃收洋價按照市價漲落未能畫一應咨查照各該處典舖洋價收納不准絲毫抑賤再立官價名目經此次整頓後仍不實力奉行即著隨時詳叅即革搭用銅元亦須聽民自便以恤民隱而清積弊

雜報

●刼盜慘刑　是聞鄉人來日距東十五里韓家學房村有韓姓民翁媼子媳四口家稱小康而翁與子皆有錢癖視財若命吝嗇無儔外人皆呼之曰韓屈達屈達者蓄譏該喬梓甯肯忍而受屈絕不輕拔毛一耳於華歷月之十七日夜間突有七賊闖門入室搜財無得閒翁及子被賊炮烙該父子痛苦不堪乃告賊窖金之處共搜刼去洋錢簪環等具約直東錢一千餘吊呼嘯而遁次晨韓姓報盜於蓋城巡警營未悉該營弁如何設法緝捕云

●偵賊被算　蓋城巡警營哨弁有董漢卿者前數年率帶團勇駐箚城鄉各處其副弁高二係著名大盜後爲人槍斃而散現復帶巡警營隊管轄二道溝南北一帶手下多係土豪惡棍平日無所不爲日前秦家窩舖某姓小舖并韓家學坊韓姓之家先後夜間各被盜刼董接陶二姓失盜報單無處緝賊大爲棘手聞於前數日乃派該隊棚長率兵十六騎予以半月期限務要偵獲夜刲各賊其棚長馬姓久住軍營頗諳緝賊之事乃將諸件分住村店每當薄暮時概以馬繫店櫪扮作農狀三三五五各持槍械十藥潛身於菽叢禾中待賊行刼掩而捉之奈因積雨盈疇全行跣足蹲匿其中幾有竟夜邏守之苦希冀獲賊故也詎風聲外洩反爲賊黨偵悉昨日聞該件等旋回藉便來埠云前夜二更時有四兵散蹲禾中作犄角之勢專待捉賊詎賊等遠從背後發彈射來竟中兵之背因皆急伏水地幸未多被其創迨四外聞知鳴槍相助協力包圍賊等已竄遁矣一無所獲往被賊之暗算射傷二兵之背丸未入骨尤幸傷不甚重不致有礙性命云

●訪緝合法　昨聞市人傳語有埠民劉開源者少年英銳以販馬爲業性喜交游官場人員多與之友即顯秩長官亦有與之相識者若爲忘形之交前任蓋平大令劉公涖任時創設巡警營隊惟缺總巡一員稽查各隊合法盡職與否而劉縣尊之堂官幷西府尉恩力爲保薦劉君通達捕務明於事理群舉劉爲巡警總辦遴選諸弁稽查城都及四外諸村鎭之有巡警隊者該巡兵等果能估分盡職立予分別拔用劉先有五品藍翎功牌由茲藉升冠戴諒復蒙省垣軍帥獎賞勛章愈覺顯榮更竭誠以供職事然屬弁無多地面遼闊實有鞭長不及之勢日前秦家窩舖及韓家學房一處居民先後入夜被刼聞秘派其屬弁切往諮訪務要盤其素與匪民等有挾嫌之事否而是夜賊等由何而來由何而往若操何處聲音預前有風動否幷詢四外遠近各村曾聞有奸民素匪匪類否然各處鄉民務要據實詳詢萬不可挾怨污人罔爲株連云云咸曰劉君雖初膺斯職而分派偵察頗爲合法想此後再加歷練必當大有可觀

北京發 山海關着 大連着 鐵嶺 昌

有之…都合…御示談中上度義…之儀ニ付御來訪ヲ乞フ

報

昨日の氣溫　昨年同日

最高溫度八十四度二　高二度二

最低溫度六十七度八　低六度九

營口料理店案内 いろは順

旅館 料理 第一樓 元神廟街九十六號(電話八四番) 營口ホテル

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前(電話一八七番、四番) 店主 熊田象次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三軒

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川源三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街(電話一四五番) 店主 片山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 大和館 永世街三十四號(電話十一號) 店主 前田九一郎

料理 萬梅 營街門街第百〇四號 店主 田島源助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百五十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

さそば 第一等料 さるそば 第二等料 營口元神廟街 永世街 鶴の湯

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 店主 桂松太郎

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

旅館 品川館 營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野喜吉(電話 番)

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街南側 温泉付大勉强キレーデフイシヒ (電話 番)

旅館料理店 日盛館 奉天小西門より一丁西の北入 館主 入江熊男(電話 號)

御料理 梅ヶ枝 奉天小西關大街路北 館主 辻井ム

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大什字街南へ入(電話二十五號)

旅館料理店 日章館 (電話 號)

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局八〇一〇號 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑雅を主とし旅館を專業に單ら御客様の御便利を斗り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 料理店 梅松館 奉天城内灰市街 東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎(電話 號)
今回弊館座敷増築の上清潔廉價を旨とし川魚(鰻井鯰蒲燒)等をも新調且つ仕出等致し御中喰には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願上候

新築廣告

一 西洋風 日本建 貸家 間口三間 奥行四間 八戸
鐵嶺西門外停車場通り 商品陳列場附近
右は鐵嶺屈指ノ地にして目下建築中に付本月下旬には落成致候間御希望の御方は至急御來談あれ
明治三十九年七月 營口西北街 裕和盛號

鐵嶺支店雜貨部並に鐵道及河運輸部をも今回落成仕候間移轉の上は大改革を爲し貴需に可應候條御引立の程伏て奉願候
鐵嶺西門外大街 裕和盛支店

營口 加藤洋行

新着

麻座蒲團、茶、浪花簾、竹製椅子、簿記卓子、コッピープレス、謄寫版、日の丸提灯、ハンモック、蚊張、枕、印刷用紙、茶道具、蝿入らず、漆器各種、帽子、鞄、レモン油、理髪道具、フートボール、

◉煉瓦販賣
上り窯ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦御入用ノ節ハ當洋行ニテ御需メ下サイ
二本町 高坂洋行煉瓦製造部 (電話九十番)

和洋御料理 高等 遼東館 遼陽城内東街一八九號 電話 號

御料理旅館 三河樓支店
弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる本家風の二樓造屋新築し〇上等を著に旅する設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候
〇主 川上總吉

料理店旅館擴張廣告

奉天小西關新東當街々 御料理 本店 金城館 (電話十九)
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル (電話一〇)

四方各位益々御清榮の段奉大賀候陳者弊店儀夙に滿洲樞要の都府に當る奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候處大方紳士紳商諸彦の御引立を蒙り日に増し盛大を來たし從つて家屋手狹まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來藝に適する様大廣間を落成致し候に付き此際式ナ宴會(百人迄の設備有之候並)に歌舞演日本本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と清潔とを主とし精々勉强廉價に相務め可申候間尚一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白

追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は南方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

營口永世街 御料理 支店 金城館 (電話八三)
營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理 支店 金城館
大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

御旅館 料理 扶桑館 館主 堀田ハル 電話 號

和洋 御旅館 御料理 奉天館 奉天軍政署指定旅館 奉天城内鐘〇南大街 (電話十四番)

日清俱樂部 奉天城内大南門裡大街 (電話十五番)
麺麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髪 裁縫
氷御小賣所

一週年の祝意 寫眞定價半減 七月五日より八月五日迄 木村寫眞館

洋服調製

拜啓各位倍々御清榮之段大賀之至りに存候陳者弊會雜貨部に於て今回洋服調開業と同時に職工を撰み且つ新珍柄取揃大勉强可仕候條多少に不拘御注文被下度奉願上候 敬白
日營貿易商會

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器運史紙五彩印字連史其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

謹告
弊店儀今度彌生跡を引受け新來の年若美形を揃へ料理は勿論御待遇萬事萬端一大刷新を加へ御手輕御清遊に適する様店中車輪の大勉强何卒倍舊御愛顧の程伏して
御客様 奉願上候 店一同
醉月

土木建築並ニ測量設計請負
營口青堆子綏定門外 志岐組

永世街第廿八號
大原洋行
白米、醤油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約 東京タクアン 其外和洋酒類 (無比廉價販賣す)

石原商店
軍隊用雜貨 日用品雜貨 呉服太物類 化粧品類 陶器類 食料品類 御小賣 其外新荷着精々安價販賣
營口永世街七十號(第二市場東)

爲替相場(七月十六日)
日本向 百〇一圓七十五錢(日本百圓に付)
上海向 七十一両二分ノ一(同)
天津向 一百四圓十二錢五厘(百弗に付)

日本品最近物價表
紙類 加藤洋行
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 全(六十枚) 七圓五十錢
一全 二十枚續 三錢二厘以上四錢
一状袋 百枚 十三錢以上十八錢
室内裝飾品及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一疊表 二十枚 二圓六十錢以上三圓
一麻綿 一疊敷 八圓
一綿綿 全 三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy 80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 九弗六十仙